



「おいしく育てね」の願いを込めて JAそらち南青年部が田植えツアーを開催

JAそらち南青年部と交流のある札幌市白石区の住民を招き、5月16日、田植え体験ツアーが南学田の田村直弥さんの水田で行われました。参加した中学2年生の春木美心さんは「貴重な体験ができて楽しかったです」と話しました。今年で36回目となるツアーに参加した22人は、秋には収穫体験にも訪れ、稲刈りをする予定です。



SDGsに生き方を学ぶ 北海学園札幌高校が町内で体験

栗山町の豊かな自然環境に触れSDGsを学ぼうと、5月15日、北海学園札幌高校1年生が体験学習に訪れ、町内7カ所で生徒を受け入れました。國本農場（日出）で農業と食について伝えた國本英樹さんは「今日の体験を通じて、食材のことや将来の職業について考えましょう」と呼びかけていました。



安心して走ってね！ 町内事業所がグラウンド整備で奉仕活動

社会貢献の一環として、栗山建設協会、井沢建設株式会社、共立道路株式会社が町内3小学校のグラウンドを整備しました。子どもたちが安心して走れるグラウンドにしようと、雑草を取り除く手作業や、ロードローラーや、ドーザなどを使用した整地作業で、総勢約50人が汗を流しました。



待望の開園、大盛況 栗山公園・なかよし動物園オープン

桜が満開を迎えたゴールデンウィーク初日の4月29日、栗山公園と園内のなかよし動物園がオープンしました。開園する10時前には、動物園の入口に親子連れなどの長い列ができました。この日を待ちわびた多くの来園者は、動物と触れ合ったり、遊具で遊んだり、春の訪れを満喫していました。



20年の節目に議会活動を振り返る 栗山町議会基本条例制定20周年記念

これまでの議会活動を振り返り、地方議会が目指すべき姿を考えようと5月17日、カルチャープラザで記念事業が開催されました。基調講演後のパネルディスカッションでは、前栗山町議会長の橋場利勝氏が「議会基本条例の制定を機に議会と町民の対話が深まり、これまで続けてきたことは大変意義あること」と話しました。



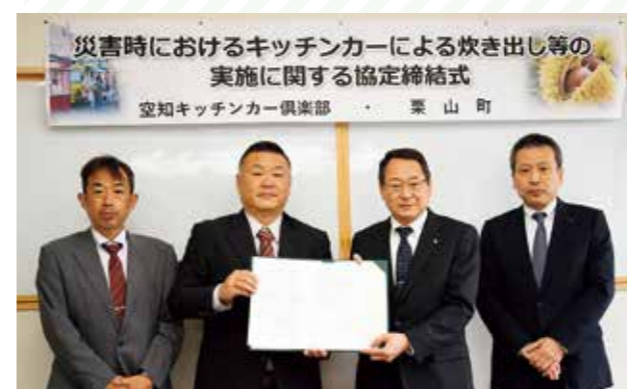
野球部の練習環境強化のために わらべや日洋ホールディングスが寄贈

工場拠点地域での貢献活動の一環としてスポーツ活動支援に取り組む、わらべや日洋ホールディングス株式会社（東京都：辻英男代表取締役社長）は、5月15日、栗山高校にピッチングマシンを寄贈しました。2年連続の寄贈に、女子野球部主将の松本心優さんは「さらなる成長につなげていきます」と感謝しました。



災害時の炊き出しに関する協定を締結 空知キッチンカー倶楽部

町は、空知キッチンカー倶楽部（伍石昌弘会長）と、災害が発生した際の炊き出しに関する協定を、5月11日に締結しました。この協定は、災害が発生した際に、同会の会員が避難所などで無償の炊き出しを行うもので、伍石会長は「有事の際には、少しでも皆さんの役に立ちたいと思います」と話していました。



食・体験・ものづくりに大賑わい 3周年記念イベント「くりふとの日」

2023年にオープンした栗山煉瓦創庫くりふとが3周年を迎え、4月29日の記念イベントに約800人が来場しました。会場内は、くりふとグルメを始め、けん玉やスケートボード体験、オーナメント制作や、スタンプラリーなど、くりふとならではの多彩なコーナーで、大賑わいでした。

